

## 岩手県内図書館連携企画展示の取り組み

### 図書館の医療・健康情報サービスの定着に向けて

川崎かおる, 小山田翔太 (岩手医科大学附属図書館)

● (コメントですので、読み上げてください)

公共図書館での健康医療情報の提供は高齢化社会の今において重要な取り組みと思います。医療系学生が卒後もそうした取り組み連携を知るのはとても有意義です、これからも頑張っていただけだと思います。ありがとうございました。

Q1. 公共図書館と大学図書館との地域連携としての協力は、とても素晴らしと思います。公共図書館から医学論文の複写希望があった時に、相互協力として提供されていますでしょうか？その際の送付方法や料金についてはいかがでしょうか？

A1. 公共図書館も大学図書館と同様の対応をしている。県内図書館の情報共有サイトがあり、大学図書館の相互協力情報も掲載し、毎年更新して周知に努めている。

Q2. 医療・健康情報サービスの啓発につながる活動ですね。取り組みをご紹介いただきありがとうございました。利用者の意見・感想など、ご存じのことがあれば教えてください。

A2. アンケートに利用者の反応も記載していただいている。詳細の問い合わせを受けたり、意見を基に選書するなどの対応が見られる。

Q3. 貴重なご発表ありがとうございました。愛知医大さんのめりーらいんが実績がありますが、岩手医大さんと公共図書館は、テーマ展示以外にも、レファレンスやほかのサポートはありますか？

A3. パスファインダー作成などには対応していないが、レファレンスへの協力や、企画展示を通じて選書の相談などがある。また、この企画をきっかけに、本学へのつながりができ、医学について困ったときには相談できるという理解が深まったと感じている。

## 質疑応答

Q4. 川崎様 ありがとうございます。歯科医院や行政とも連携、素晴らしいです。学内の反響などありましたら教えてください。

A4. 学外に向けて企画展示を始めた理由の一つに学内での認識不足があり、外から着手したという経緯がある。学内の反応については、まだ手ごたえがなく、アピール方法が今後の課題である。

Q4-2. ありがとうございます。大学や大学病院内の医療者を巻き込めるといいですね。

A4-2. ありがとうございます。頑張ります。

Q5. 資料は各館での使用が前提か。

A5. 参加館での一般の方向けの情報提供用に作成している。